

Press Release

報道関係者各位

2019年1月21日

ナーブ株式会社

日本の観光先進国実現に向けて、テクノロジーを用いた新たな取り組み ティーアイシー トウキョウ 観光インフォメーションセンター『TIC TOKYO』(東京駅隣接)にて VR技術を用いた観光案内の実証実験を開始

ビジネスVR最大手^{※1}のナーブ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役:多田英起、以下、ナーブ)は、森トラスト株式会社(本社:東京都港区、社長:伊達美和子)とともに、森トラストグループが運営する観光インフォメーションセンター「TIC TOKYO」(東京駅日本橋口隣接、日本政府観光局(JNTO)および東京都認定)において、VR技術を用いた国内の観光案内の実証実験を、2019年1月21日より開始しました。

本実験では、国内外から多くの観光客が訪れる「TIC TOKYO」内に、ナーブが開発したVRシステム『どこでもストア』3台(40インチのサイネージ型1台、タブレット型2台)を設置し、文字や写真だけでは伝わらない臨場感のある観光情報を、VRを用いて施設利用者に提供します。本実験を通じて、VRによる周遊促進への効果、VRでの観光案内のニーズや満足度、利用者の利便性等について、森トラストグループとナーブ共同で分析・検証を行います。

「TIC TOKYO」は、全国の地方自治体とともに、多言語対応による日本全国の観光地を紹介する施設として、2009年6月に開設し、年間約46万人(2017年度実績)が来館しています。

なお、森トラストグループでは、政府の観光ビジョン「2030年に訪日外国人旅行者数6,000万人」を見据え、グローバル展開しているホテルチェーンとの連携により、世界に向けた日本の魅力発信に取り組んでおり、現在、都心や全国主要リゾート地において、23か所のホテル&リゾート施設の賃貸・運営と、19件の新規ホテルプロジェクトを推進しています。

※1 実用的でビジネスに活用しやすいナーブのVRシステムは、不動産、建設、旅行、航空、船舶、自動車といった様々な業界で、多くの大手企業に活用されています。



「TIC TOKYO」に設置されている『どこでもストア』。左の写真はサイネージ型、右の写真はタブレット型(2台)

■実証実験の概要

- ・実験期間:2019年1月21日(月)~2019年3月(予定)
- ・実施場所:丸の内トラストタワーN館1階「TIC TOKYO」(東京都千代田区丸の内1-8-1)
- ・設置機器:『どこでもストア』3台(40インチのサイネージ型1台、タブレット型2台)
- ・検証内容:
 - ・VRによる周遊促進への効果の検証
 - ・VRでの観光案内のニーズや満足度の検証
 - ・利用者の利便性の検証 など

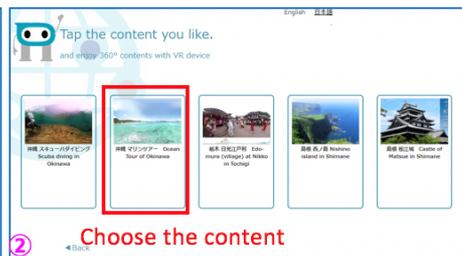
・利用方法:

①画面をタッチ



①

②閲覧したいコンテンツを選択



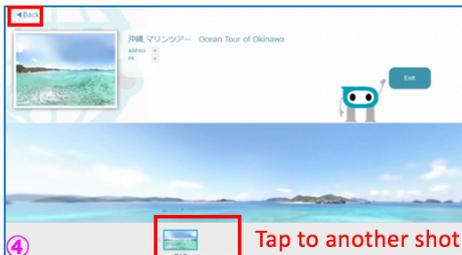
②

③VR 端末を装着



③

④全国の観光地を VR 体験できます

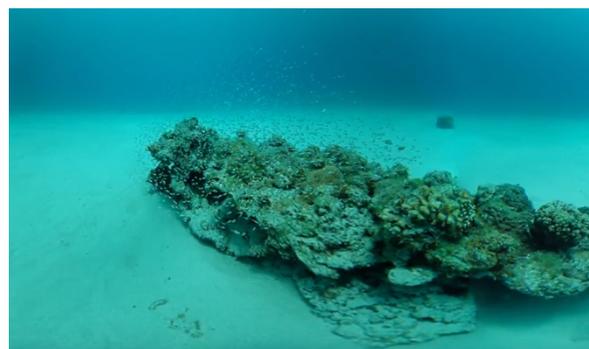


④

■VRでの提供コンテンツ(『どこでもストア』で閲覧)

現在、VR で閲覧できるコンテンツは、北海道、東京、神奈川、京都、岐阜、島根、鳥取、兵庫、福岡、沖縄の各所観光施設など、計 47 件の観光情報です。

今後、実証実験の期間中、箱根、鎌倉、横浜や都内(銀座、浅草、築地など)、さらには関西地方などの VR コンテンツを追加していく予定です。



左: 岐阜県 飛騨白川郷。白川郷には世界遺産に登録されている「合掌造り集落」をはじめ、日本の原風景である農村文化・生活・暮らしを深く感じることができる場所です。

右: 沖縄でのダイビング映像。透明度を誇る海で、魚の群れや岩場のエビたちを間近で見ることができます。

※記載内容は、今後変更となる場合があります。

■ナーブの「VRトラベルソリューション」なら、コンテンツ制作も簡単!

ナーブの「VRトラベルソリューション」は、専用の「撮影アプリ」(スマートフォンにインストールして使用)によって、誰でも簡単に、きれいで高品質な 360 度パノラマ画像を撮影できます。また、データの登録もスマートフォンから簡単に行えるため、地方自治体や観光協会など、地域が発信したい観光資源を、手軽に、かつスピーディーにツーリストに向けて発信できる仕組みになっています。

■ナーブ株式会社について

ナーブ株式会社(NURVE)は、「完全情報を提供し、未来のあたりまえを創り世界を変革し続ける」をビジョンとして、VR 技術を活用した今までにないプラットフォームを提供。実用的でビジネスに活用しやすい VR システムは、不動産、建設、旅行、航空、船舶、自動車といった様々な業界で、多くの大手企業に活用されています。

- ・不動産、建設:『VR 内見™』『どこでもストア®』などの VR ソリューションを提供
- ・旅行、航空、鉄道:『VRトラベルソリューション』を提供
- ・船舶、自動車:『VRソリューション』を提供

ナーブは、VR 業界におけるマーケットリーダーとして、企業の迅速な意思決定と変化対応能力の向上を支援するとともに、企業の顧客満足度向上にも役立つシステムを提供します。

■ナーブ株式会社 概要

社名 : ナーブ株式会社
 代表 : 代表取締役 多田 英起(ただ ひでき)
 本社所在地 : 東京都千代田区大手町1-1-1 大手町パークビルディング7F
 設立 : 2015年10月
 資本金 : 991百万円(資本準備金含む)
 事業内容 : VR(バーチャルリアリティ)コンテンツのプラットフォームの提供
 ホームページ : <https://www.nurve.jp/>

■森トラスト株式会社について

森トラストは、「丸の内トラストシティ」、「東京ワールドゲート(2020年3月竣工予定)」をはじめ都心部の大型複合開発を中心とした不動産事業、創業したラフォーレ倶楽部の運営や高級外資系ホテルの誘致などを手がけるホテル&リゾート事業、REIT組成や海外投資、イノベーション投資などの多様な事業への投資を行う投資事業の3事業を軸に展開する森トラストグループの中核企業です。

2017年10月より、総額200億円の投資枠を設定し、不動産に関連する「Re-Tech」、および観光やホテルに関連する「Hospi-Tech」を重点投資先として、「コミュニティスペースの整備」や「CVC活動の推進」、「ベンチャーキャピタルへの出資」を柱とした、新イノベーション投資戦略を推進しています。新コーポレートスローガン「Create the Future」のもと、様々な形でスタートアップ企業との協業や支援を推進することで、未来を見据えた新しい事業の創出を目指しています。

■森トラスト株式会社 概要

社名 : 森トラスト株式会社
 代表者 : 代表取締役社長 伊達 美和子
 所在地 : 東京都港区虎ノ門2丁目3番17号
 事業内容 : 不動産開発、ホテル経営および投資事業
 企業 URL : <https://www.mori-trust.co.jp/>

■「TIC TOKYO」について

TIC TOKYO(Tourist Information Center Tokyo)は、森トラスト・ホテルズ&リゾーツ株式会社が運営する、東京駅日本橋口より徒歩1分の観光インフォメーションセンターです。訪日外国人および国内旅行に関心がある方を対象として、東京をはじめ日本全国の観光情報、関連情報を提供することを目的に、2009年6月に開設されました。

日本政府観光局(JNTO)認定の外国人観光案内所(カテゴリ-3に認定^{※2})および東京都認定の観光案内窓口として4カ国語(日・英・仏・中)対応のコンシェルジュによる観光案内を行っております。



営業時間: 10:00~19:00
 (年末年始及びビルが指定する日を除く毎日)
 電話: 03-5220-7055
 住所: 千代田区丸の内 1-8-1
 丸の内トラストタワーN館1階

※2 JNTOでは、観光案内所を3つのカテゴリで認定しており、カテゴリ-3は、「常時英語による対応が可能。その上で、英語を除く2以上の言語での案内が常時可能な体制がある。全国レベルの観光案内を提供。原則年中無休。Wi-Fiあり。ゲートウェイや外国人来訪者の多い立地。」を主な基準としている。全国約1,000の認定施設のうち、カテゴリ-3の認定は50施設のみ(2018年12月末時点)。

【本件に関するお問い合わせ先】

ナーブ(株) 広報部 担当: 佐藤 TEL: 03-6635-6199 E-mail: press@nurve.jp
 森トラスト(株) 広報部 TEL: 03-5511-2255